

# 申請内容確認書

## 1 申請者の基本情報

事業者名	<b>くるいんコーポレーション株式会社</b>		事業開始日	昭(平)令 <b>17</b> 年 <b>4</b> 月 <b>1</b> 日
事業形態	<b>1.</b> 法人 2. 個人事業主		資本金	<b>500</b> 万円(個人事業主は記入不要)
役員 / 従業員数	〔役員 <b>2</b> 名、従業員(正社員) <b>3</b> 名、(アルバイト等) _____名〕 合計 <b>5</b> 名 【個人事業主の場合、代表者と専従者は役員欄に記入】			
主たる業種 事業内容	業種: <b>小売業</b> 具体的な事業内容: <b>惣菜販売</b>			
本支援金の 連絡先	担当部署 担当者	<b>営業部 立川 一郎</b>	電話番号	<b>042-000-0000</b>
	メール アドレス	<b>000@tachikawa.lg.jp</b>		

## 2 確認事項 (必ずチェックを入れてください。)

「創業者特例」を使用する。【はい:交付説明書3頁確認】	<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ
立川市が中小事業者向けの支援事業を実施する際、メールや郵送によるご案内等を受け取る。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
申請金額の算定に用いる確定申告書・決算書の年度 ※令和4年度に実施した「中小事業者物価高騰等緊急支援金」の交付を受けた方で、「中小事業者物価高騰等緊急支援金」申請時にご提出いただいた年度の確定申告書・決算書を「経営改善緊急支援金」の申請金額の算定に用いる場合、提出を省略いただけます(「中小事業者物価高騰等緊急支援金」申請時に創業者特例をご利用いただいていた場合は除く)。	<input type="checkbox"/> 平成31年度 <input checked="" type="checkbox"/> 令和 <b>5</b> 年度 (下線部↑をご記入ください) <input type="checkbox"/> 中小事業者物価高騰等緊急支援金申請時の確定申告書・決算書
専門家に相談したうえで作成した事業計画書を添付する。 ※添付いただいた事業計画書で内容が確認できる場合、裏面のご記入を省略いただけます。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

※専門家の社判でも可としますが、担当部署・担当者名が入っていない場合は追記をお願いします。

## 3 相談した専門家の情報

事業者名	<b>税理士法人 くるいん相談事務所</b>	事業形態	<b>1.</b> 法人 2. 個人事業主
担当部署 担当者	<b>経営相談課 立川 二郎</b>	電話番号	<b>042-000-0000</b>
相談日	令和 <b>5</b> 年 <b>11</b> 月 <b>1</b> 日		

※複数回相談した場合は、直近の相談日をご記入ください。

<裏面へ>

## <立川市 経営改善取組計画書>

※下記の内容が確認できる事業計画書を添付する場合は記入不要です。

経営上の課題（該当する取組項目にチェックを入れてください。複数回答可）

売上高増加 ■1. (販路拡大・販売促進・新規事業参入・ホームページ作成・インバウンド対応・DX化 等)

売上原価削減■2. (収益改善・原材料見直し 等)

生産性向上 □3. (設備投資(入替)・人材(事業承継・雇用)・福利厚生 等)

その他 □4. \_\_\_\_\_

### 取組内容

(上記の課題に対する取組について具体的な内容を記入してください)

ホームページを新たに製作し、新規ターゲットを獲得する。ホームページからの受注分については、従来の注文に比べ、内容量が80%程度になっており、価格は同一としている。一定期間(3か月を目安)を経て、内容を統一し、実質的な収益の改善を図る。結果として、販路拡大と収益の改善を図り、3年間で、売上高30%増、利益率15%向上を図るものである。

### 期待する効果

(取組により今後期待される効果を具体的に記入してください)

新規ターゲット層を獲得した場合、店頭販売顧客よりもリピート率が高いと考えられる。また、若年層を新規ターゲットの対象としており、SNSでの情報拡散や、口コミによる効果も見込まれる。